

Team PINK

明神湯



FW最終発表 明神湯

チーム P I N K

©17N1048 佐々木 泰世
17N1024 鍛冶屋 慎一
17N1029 加藤 雄大
17N1037 小菅 拓海
17N1038 小杉 和也

概要

昭和32年創業

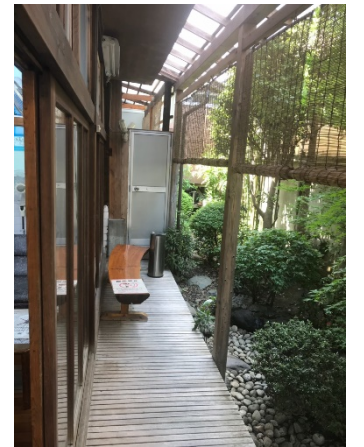
東京都大田区南雪谷5丁目 1 4 - 7

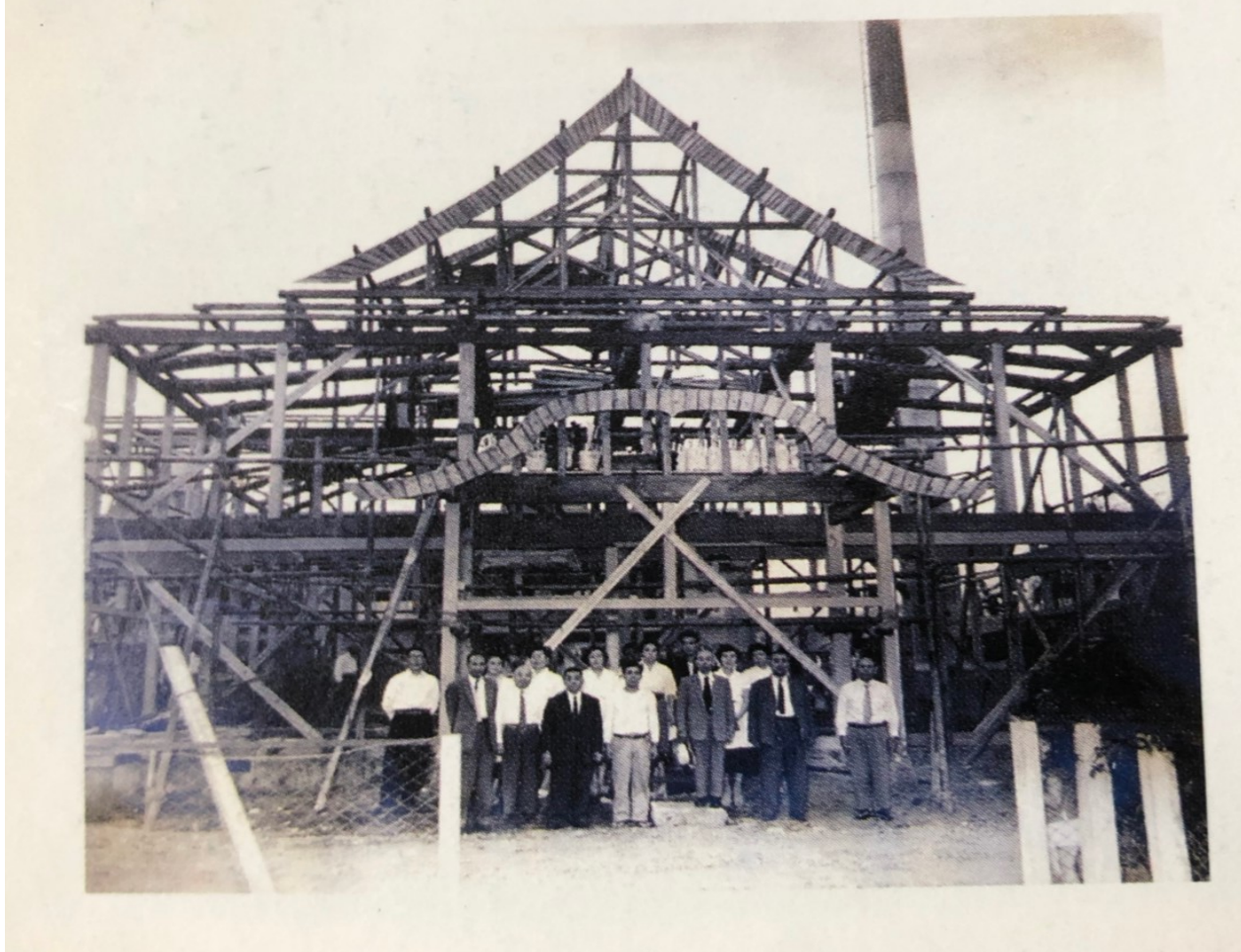
御嶽山、石川台、雪が谷大塚の
3 駅の間にある

それぞれの駅から徒歩約10分
バス停もすぐそば



内観





ゴールポイント

- 明神湯の良いところ
- 明神湯の欠点
- 銭湯の減少の理由
- 銭湯の今後の時代の変化に合わせた取り組み

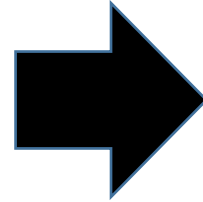
“銭湯＝浴場” ⇒ “銭湯＝コミュニティ”

明神湯の良いところ

- 建築が古くて趣がある
- 天井が高くて圧迫感がない
- 最近他では見ないパワーをもらえそうなつくりをしている
- とてものんびりできる
- 富士山が良い
- みんなの社交場の様な場所
- 他のお客さんと会話をしたりできる雰囲気が良い

明神湯の欠点と今後の解決策

- お湯がぬるい
- お湯の温度が一定でない
- 水風呂がない



浴槽が3つあるので

- 熱い
- 普通
- 水風呂

と温度を変える

明神湯を今後も利用したいか

- ・ もちろん今後も残ってほしい
- ・ ずっと通い続けたい

という意見がほとんどだった

そんな中で

清潔感

という言葉が上がった

銭湯減少の理由

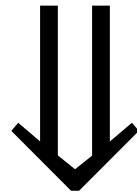
- 自宅の風呂の質の向上
- 銭湯に通うという文化風習の消失
- 核家族化が進み祖父母世代から孫世代への習慣の継承の消失

今後の時代の変化に合わせた取り組み

- 銭湯でイベントを開く
- 近隣の小学校や保育園の課外活動の一環とする
- 家族割引などのキャンペーンの実施
⇒子供たちにも良さを知ってもらいリピーター
獲得を目指す

まとめ

たくさんの人を巻き込んで客を増やすことで
普段話さない様々な世代の人と関わる機会が
生まれる



銭湯 = コミュニティの場となる

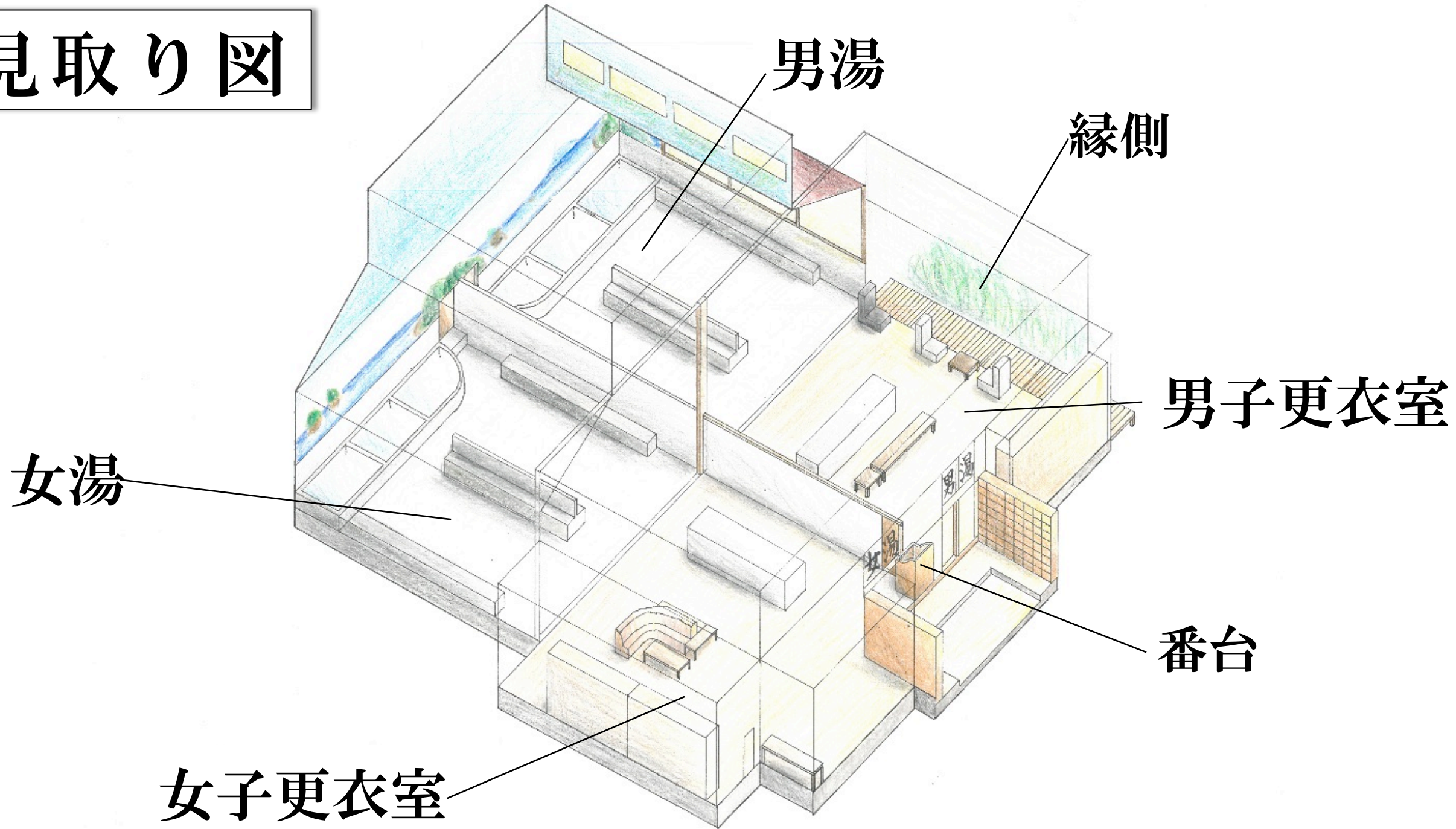
模型写真



模型写真



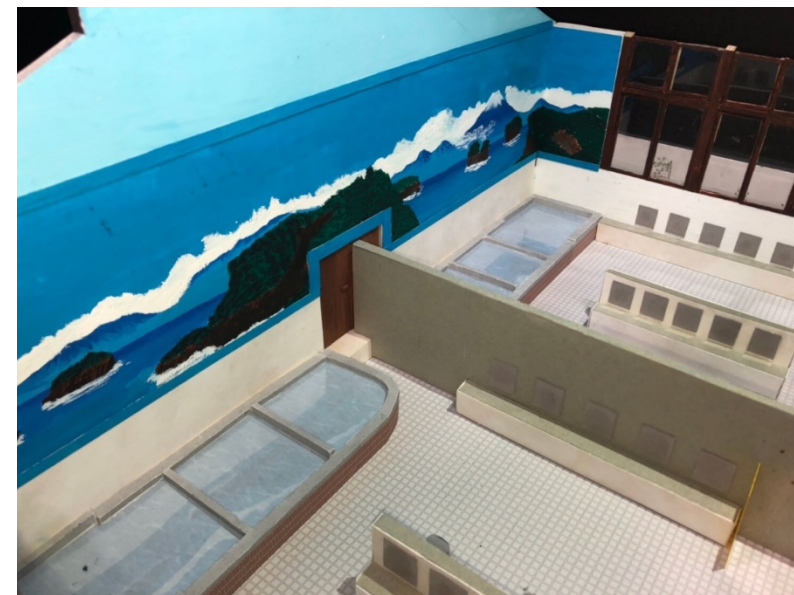
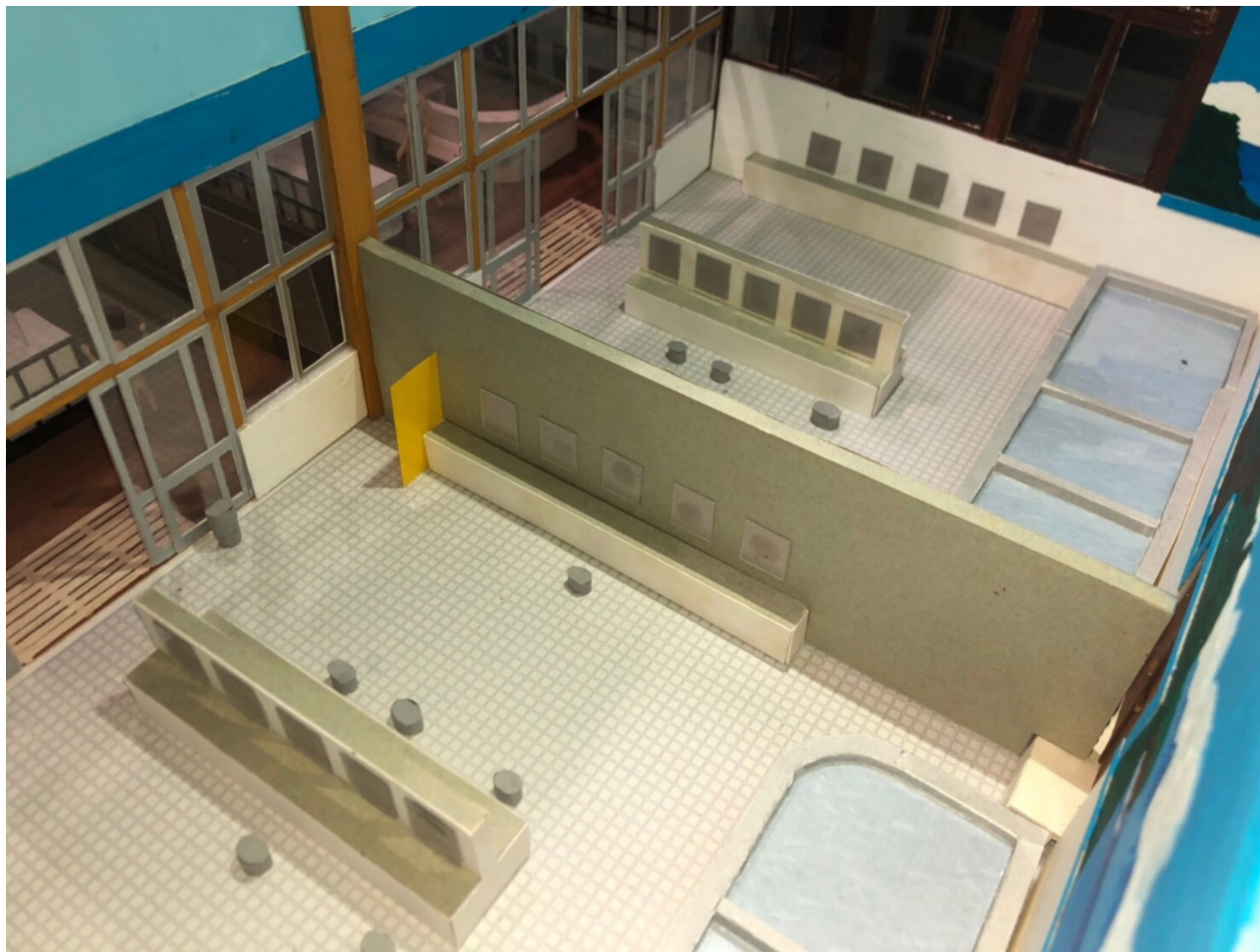
見取り図

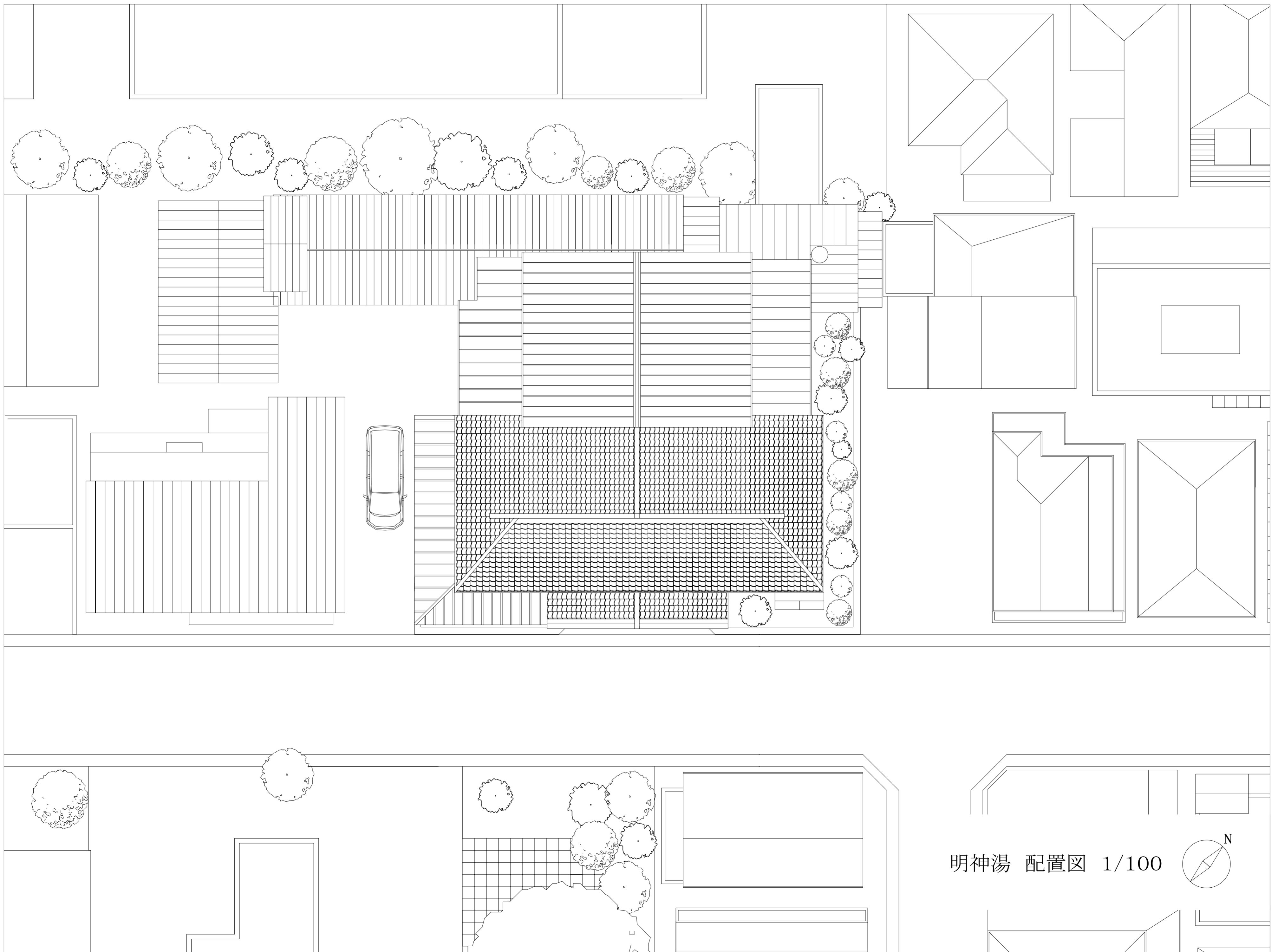


模型写真

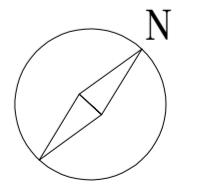


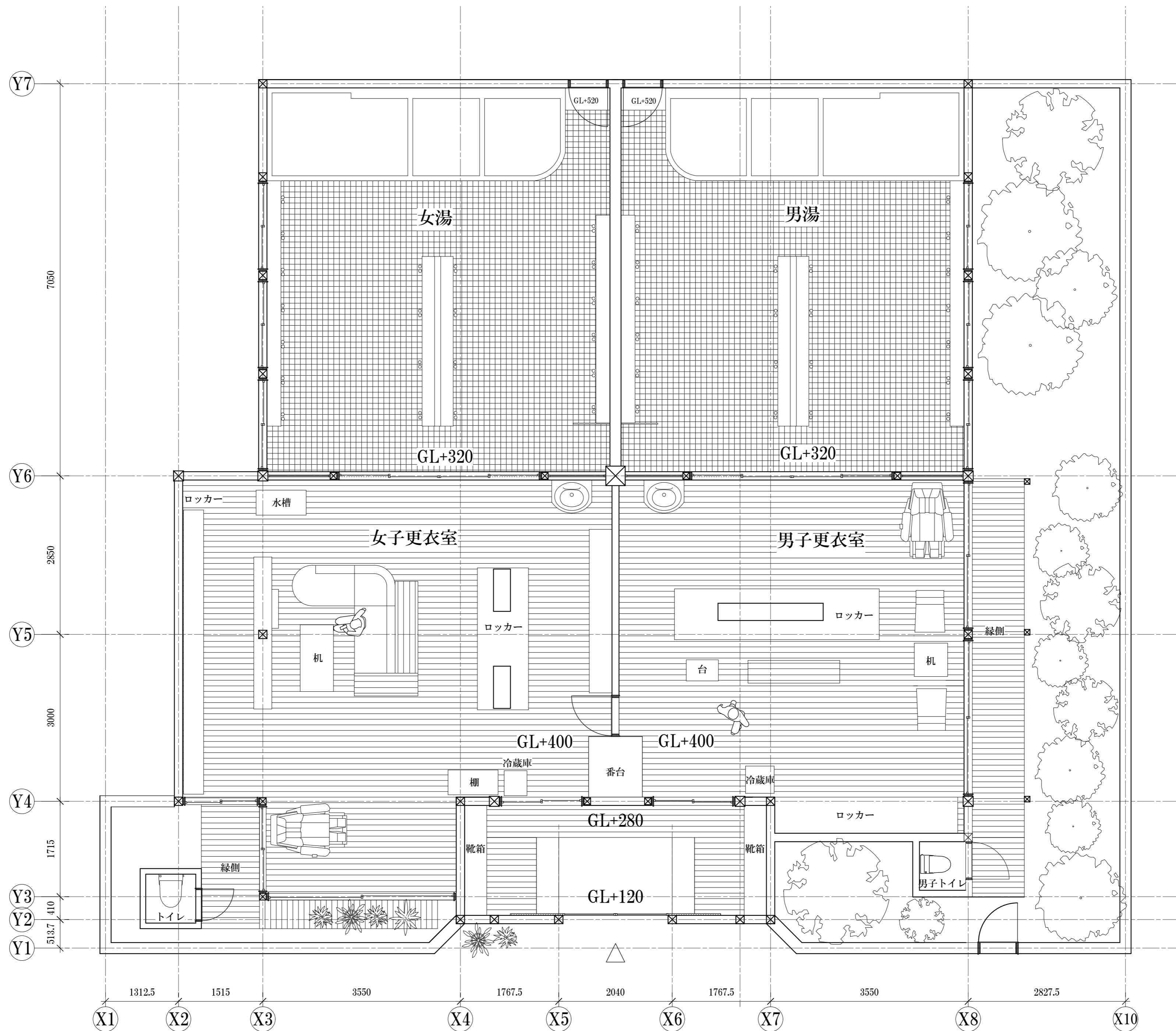
模型写真



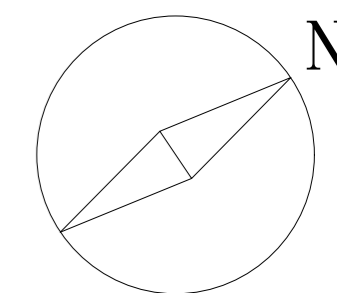


明神湯 配置図 1/100

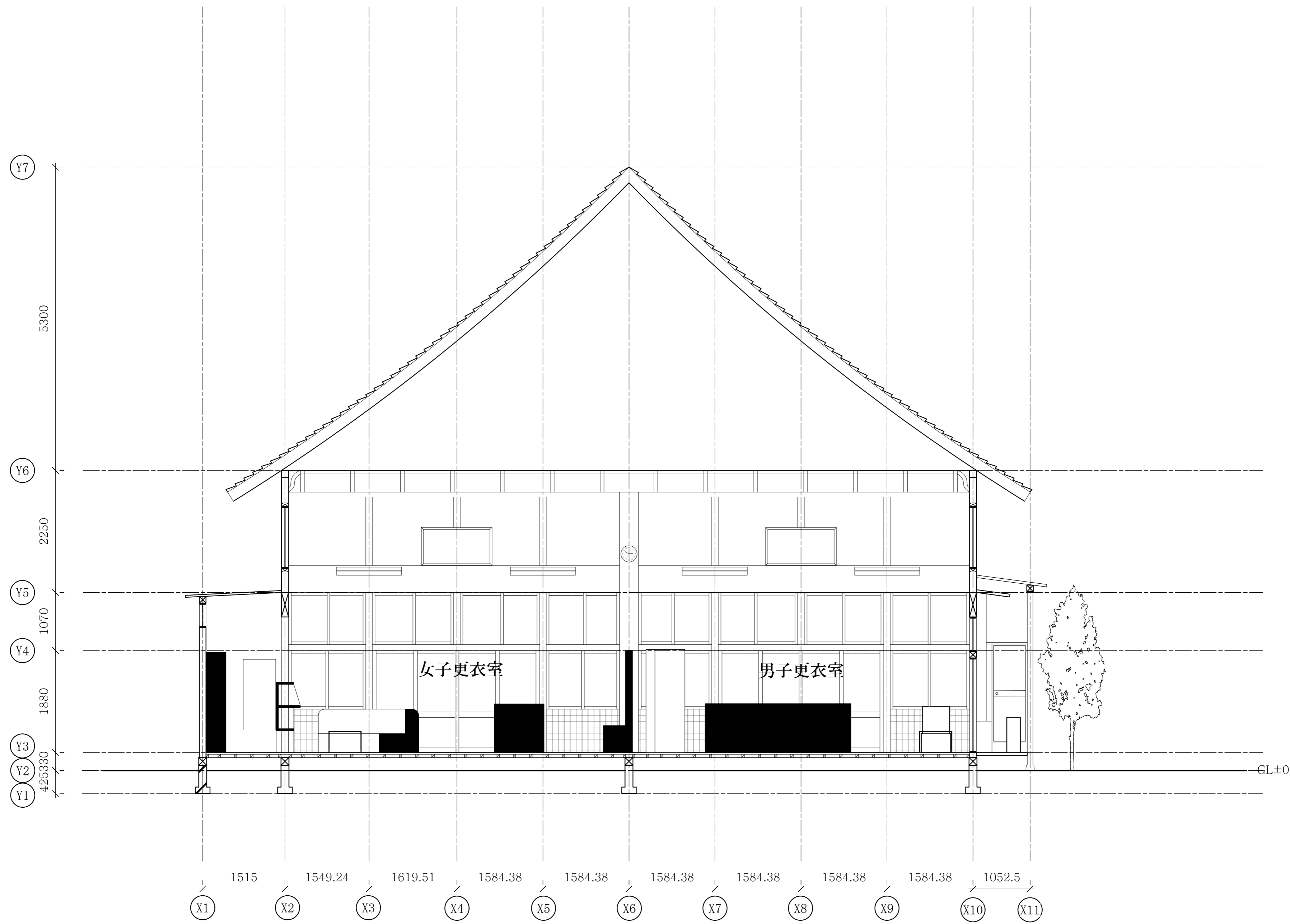




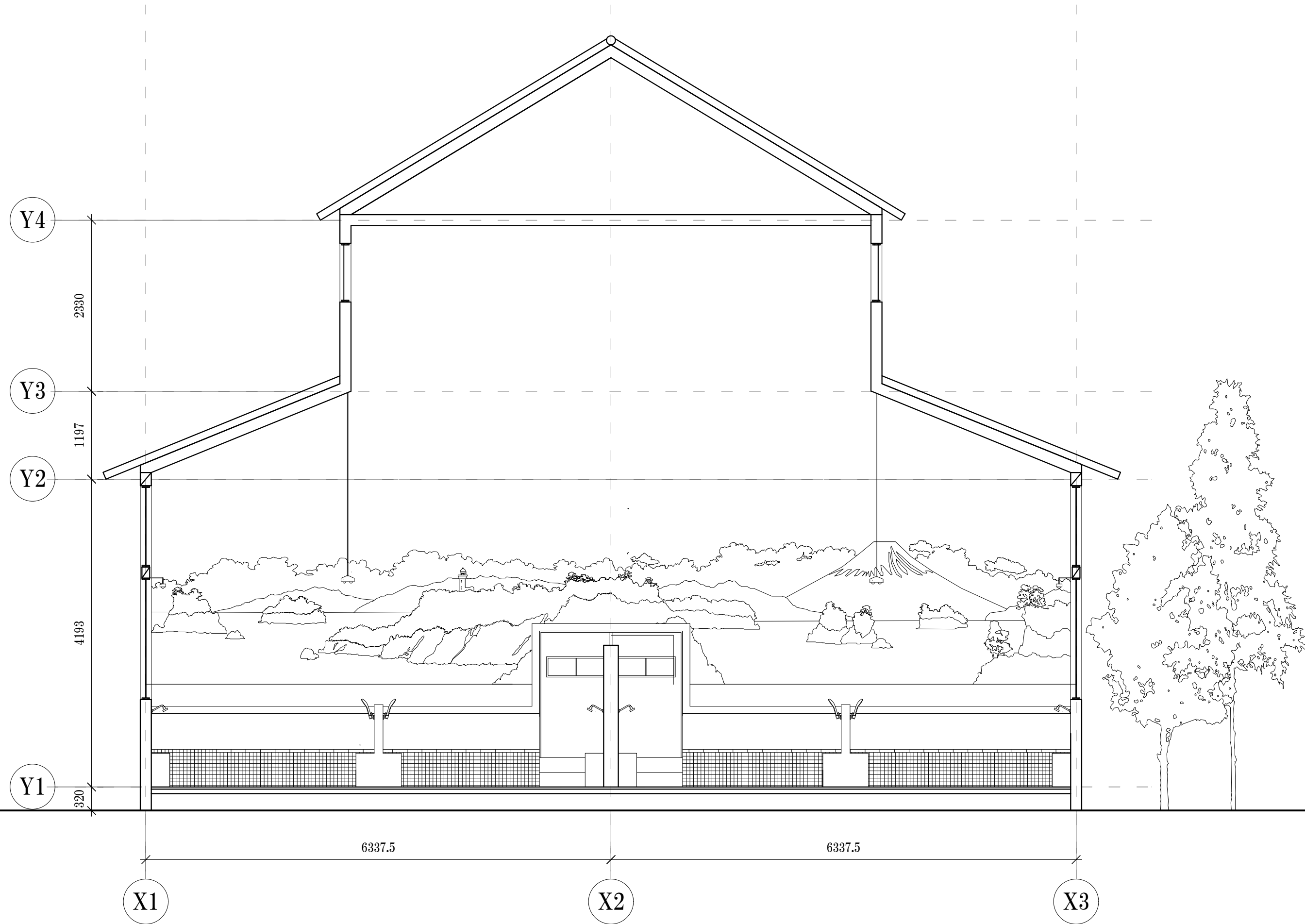
明神湯 平面図 1/50



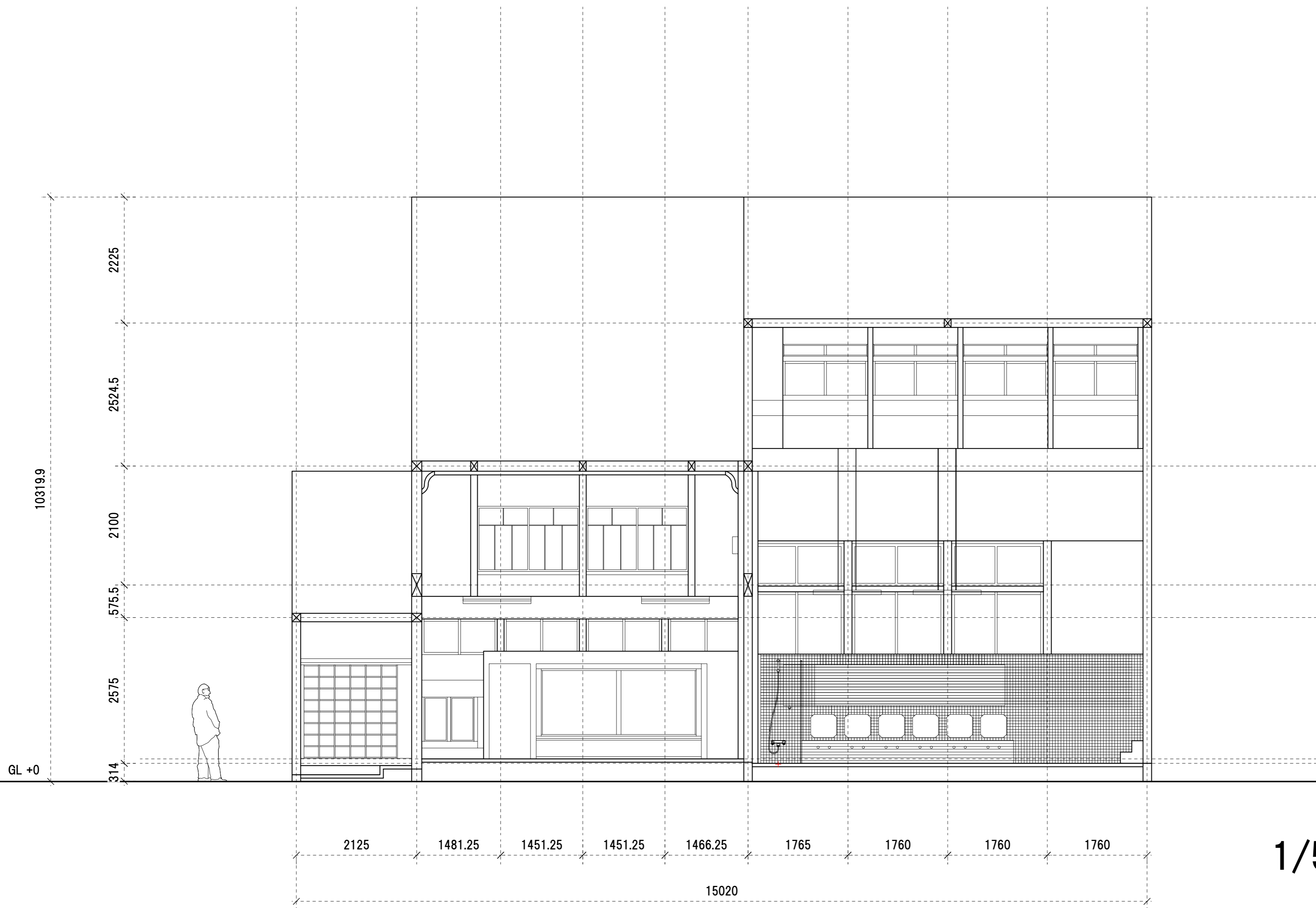




明神湯 断面図 1/50



明神湯 断面図 1/50



1/50 断面图



ご清聴ありがとうございました